

## 2023年度

科目名称	義肢装具学
授業コード	AD332
英語名称	
学期	2023年度前期
単位	2.0
担当教員	青柳 達也 (医療科学部), 平賀 篤 (医療科学部)
記入不要 ナンバリングコード	
授業の概要	リハビリテーションとは残存した機能を最大限に活用し、より人間らしい生活を獲得することである。残存した機能を補助するものの一つとして義肢・装具があり、古くからリハビリテーション手段として用いられてきている。そこで本講では、理学療法士として義肢・装具療法に精通し、臨床経験豊富な教員が解剖学・運動学などの基礎知識をもとに理学療法士として必要不可欠である義肢・装具療法の原理、目的および適応疾患について講義する。
科目に関連する実務経験と授業への活用	理学療法士を目指すうえで必要な装具学・義肢学の概要や個々の補装具類の名称や特徴、適応、チェックアウトについて、理学療法士として臨床・教育・研究において経験豊富な教員が講義する。
到達目標	本科目は、カリキュラム・ポリシーに掲げる「基本的な理学療法の治療法や障がいに対する専門的な理学療法を学ぶ科目」であるため、理学療法士として必要不可欠である義肢・装具療法における基本的な知識を身に着ける。また、日々進歩する医療技術の革新にも適応しうる高度な専門的知識を深化させ、問題解決力、表現能力、コミュニケーション能力などのキャリアの形成も目指す。
計画・内容	担当教員：全コマ 青柳達也・平賀篤（理学療法士） 1. 装具学概論 2. 股・膝継手の種類と機能・KAFOのチェックアウト 3. 足継手の種類と機能 4. 骨折などの整形外科的装具 5. 体幹装具（側弯症含む） 6. 末梢神経損傷の装具 7. 小児の装具・リウマチの装具 8. 靴型装具 9. 脳卒中片麻痺者に対する装具 10. 脳卒中片麻痺者に対する装具 11. 対麻痺に対する装具、頸椎装具 12. 義肢学概論 13. 下肢切断の評価・大腿義足ソケット 14. 大腿義足ソケット 15. 膝継手・足継手の種類と機能・膝義足ソケット
授業の進め方	指定教科書に沿いながら適宜、プリントを配布し、オンデマンド教材による予習（小テストあり）、講義、および学修内容により少人数教育を取り入れたアクティブ・ラーニングを展開させ演習なども行う。また、演習では授業内で課題レポートの提出を求める。
能動的な学びの実施	適宜、アクティブ・ラーニングを取り入れ、授業内でグループ単位でのディスカッションなどの演習を行う。また、実際に補装具類を手に取り学ぶ機会を設けるほか、装着体験や取り扱い体験を通じて理学療法士としての臨床応用に繋がる学修機会を設ける。その他、オンデマンド教材も積極的に活用させ、授業内で確認テストを行うとともにその解説を行い、授業回ごとに理解度の振り返りも行う。
授業時間外の学修	教科書やプリントと関連付けて自分の講義ノートを整理すること。（合計 60 時間程度）
教科書・参考書	教科書：豊田 輝・石垣栄司編集、「義肢・装具学 異常とその対応がわかる動画付き」、羊土社、2016年

## 2023年度

成績評価方法と基準	評価基準は、授業中の小テスト（20％）、レポート課題（20％）と到達目標に記載した内容の理解度による期末試験（60％）
課題等に対するフィードバック	小テストの答えは返却して、授業内で解説を行う。
オフィスアワー	CampusSquareを参照
留意事項	授業には指定教科書を必ず持参すること。また、指定されたオンデマンド教材は各自が授業前に必ず視聴し、その予習に努めること。
非対面授業となった場合の「授業の進め方」および「成績評価方法と基準」	<p>授業の進め方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学修内容に応じて「zoomによるオンライン授業」、「動画配信によるオンデマンド授業」、「それらを組み合わせたハイブリッド授業」を実施する。また、授業内容への理解を深めるための演習課題も組み合わせて実施する。</li> </ul> <p>成績評価方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業中課題50％と期末課題レポート50％で評価する。</li> </ul>